

(定時制・通信制の部)

第76回三重県高等学校総合体育大会柔道競技  
(兼令和8年度東海定時制・通信制高等学校柔道大会県予選)  
(兼令和8年度全国定時制・通信制高等学校柔道大会県予選)  
実施要項

主催 三重県高等学校体育連盟、三重県教育委員会、三重県柔道協会  
後援 公益財団法人三重県スポーツ協会  
主管 三重県高等学校体育連盟柔道専門部、三重県柔道協会

### 1 日程・会場

令和8年5月30日(土)	
男女団体・個人試合	
計量	8:45～9:15
試合	10:00～
ベルウイング武道交流館 〒518-0753 三重県名張市蔵持町里 2928 TEL 0595-62-4141	

### 2 競技規則

(1)国際柔道連盟試合審判規定による。

#### ①団体試合

(ア) 試合時間は4分間とする。

(イ) 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。

(ウ) チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「3 競技方法」で定める。

#### ②個人試合

(ア) 試合時間は4分間とする。

(イ) 「優勢勝ち」の判定基準は「有効」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。

(ウ) 試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。延長戦は、「有効」以上の得点があった時点、または、「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

### 3 競技方法

(1)団体試合(男子点取り試合)

① 試合は、トーナメントまたはリーグ戦とする。

② 試合ごとのオーダー変更は認めない。

③ トーナメント戦の勝敗の決定は、次による。

(ア) 判定基準

a 選手対選手それぞれの試合の勝敗は、「有効」又は「僅差」以上とする。

b 「僅差」は、「指導」差が2とする。

(イ) 「技の内容」と「指導」の重み

a 【一本勝ち＝反則勝ち＞技あり＞有効＞僅差】の順とする。

(ウ) 団体試合のチーム対チームの勝敗の決定

以下の項目に従って勝敗を決定する。

a 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

b a で同等の場合は、「一本」による勝ちが多いチームを勝ちとする。※ 但し、一本勝ちと反則勝ちは同等とする。

c b で同等の場合は、「技あり」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

d c で同等の場合は、「有効」による勝ちが多いチームを勝ちとする。

e d で同等の場合は、代表戦を行う。代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意に選出して行う。代表戦で得点差がない場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を行う。

代表戦で「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に反則負けとなった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

## (2)個人試合(男子・女子)

- ① 男子体重別、女子無差別とする。
- ② 試合は、トーナメントまたはリーグ戦とする。

※「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、ゴールデンスコア方式の延長戦において、勝敗を決する。延長戦で、「指導」の累積により両者が同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度ゴールデンスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。

## 4 引率・監督

(1)引率責任者は、団体の場合、校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。

(2)監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

### (3)監督の役割

①監督は、自身の選手が大会会場に入場してから退出するまでの間、選手の行動に責任を持たなければならない。

### (4)監督の行為・言動

①試合が止まっている間(「待て」から「始め」)のみ、選手に対して指示を与えることが出来る。

②次の行為を禁止する。

(ア)試合が進行している最中に指示を出すことや試合中に立ち上がること。

(イ)対戦相手や自身の選手を侮辱する言動。

### (5)罰則規定

①1回目は審判員が合議の上、口頭により「警告」を与える。

②2回目は審判員が合議をし、大会委員長または審判長に報告の上、大会委員長または審判長の責任のもとに、その試合が終わるまで監督席から退場させる。

※次の試合からは、監督席に座ることはできるが、その後も改善されない場合は、大会期間中をとおして、監督席への着席を認めない。

## 5 参加資格

(1)選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校に在籍する生徒であること。

(2)選手は、三重県高等学校体育連盟定時制通信制部に加盟している生徒に限る。

(3)令和8年度、三重県柔道協会を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了した者。

(4)転校後6ヶ月未満の者は出場することができない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、学校長が特に認めた者についてはその限りではない。その理由については申込書に詳細に記入すること。

## 6 参加制限

### (1)団体試合

①チームの編成は、監督1名・選手5名・補欠1名の7名とする。ただし、選手は3名から5名でも良い。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め(先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける。)とする。

②編成において全日制と定時制の混成は認めない。

### (2)個人試合

①男子の体重区分は次の3階級とする。[65 kg級・75 kg級・75 kg超級]

②女子の体重区分は無差別とする。

③計量に合格しない者は出場できない。

## 7 参加申込

(1)令和8年5月15日(金) 所定用紙 団体申込  K 個人申込  L (必着) ※メール等も可。

(2)申込先 〒510-0201 三重県鈴鹿市稲生町 8232-1

稲生高等学校 安保 欧貴 宛

TEL:059-368-3900(代表)/FAX:059-387-9781 E-mail: abo.hir@mxs.mie-c.ed.jp

## 8 計量

① 令和8年5月30日(土) 8:45~9:15の間に行う。時間内なら何度でも計量できる。

②計量を行わなかった選手および計量をパスしなかった選手は失格となる。

## 9 出場権

東海定時制・通信制高等学校柔道大会、全国定時制・通信制高等学校柔道大会出場選考会とする。

## 10 抽選会(組合わせ)

①令和8年5月22日(金) 14:00～ 稲生高等学校において責任抽選とする。

## 11 その他

### (1) 受付

①団体受付は、団体試合当日所定の出場者表 男子  、女子  及び掲示用オーダー表に記入の上受付に提出すること。

②個人受付は、個人試合計量をもって受付とする。

(2) ゼッケンについては、別紙参照の上必ず着用すること。

※申込後、抽選会までの間に欠場となることが判明した場合には、お手数ですが稲生高等学校、安保欧貴まで連絡してください。